

2026年4月20日

報道関係者各位

東和薬品株式会社

トルバプタン OD錠 7.5mg/15mg「トーフ」、顆粒 1%「トーフ」の「効能又は効果」、「用法及び用量」の追加承認取得のお知らせ

東和薬品株式会社（本社：大阪府門真市、代表取締役社長：吉田逸郎）は、トルバプタン OD錠 7.5mg/15mg「トーフ」、トルバプタン顆粒 1%「トーフ」の「効能又は効果」、「用法及び用量」の追加が、本日 4月 20 日付で承認されましたので、お知らせいたします。

≪追加内容≫

トルバプタン OD錠 7.5mg/15mg「トーフ」

トルバプタン顆粒 1%「トーフ」

効能又は効果 (下線部追記)	4. 効能又は効果 〈トルバプタン OD錠 7.5mg「トーフ」、トルバプタン顆粒 1%「トーフ」〉 ○ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留 ○ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な肝硬変における体液貯留 ○ <u>腎容積が既に増大しており、かつ、腎容積の増大速度が速い常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑制</u>		
	〈トルバプタン OD錠 15mg「トーフ」〉 ○ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留 ○ <u>腎容積が既に増大しており、かつ、腎容積の増大速度が速い常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑制</u>		
	<u>(参考)</u>		
		<u>OD錠 7.5mg</u> <u>顆粒 1%</u>	<u>OD錠 15mg</u>
	<u>心不全における体液貯留</u>	○	○
<u>肝硬変における体液貯留</u>	○	—	
<u>常染色体優性多発性のう胞腎</u>	○	○	
○：効能あり、—：効能なし			



用法及び用量 (下線部追記)	6. 用法及び用量 <心不全における体液貯留> (略) <肝硬変における体液貯留> (略) <常染色体優性多発性のう胞腎> 通常、成人にはトルバプタンとして 1 日 60mg を 2 回 (朝 45mg、夕方 15mg) に分けて経口投与を開始する。1 日 60mg の用量で 1 週間以上投与し、忍容性がある場合には、1 日 90mg (朝 60mg、夕方 30mg) 、1 日 120mg (朝 90mg、夕方 30mg) と 1 週間以上の間隔を空けて段階的に増量する。なお、忍容性に応じて適宜増減するが、最高用量は 1 日 120mg までとする。 (参考)		
	投与方法	投与量	
	心不全における 体液貯留	1 日 1 回	15mg
	肝硬変における 体液貯留	1 日 1 回	7.5mg
常染色体優性 多発性のう胞腎	1 日 2 回	開始用量 1 日 60mg(朝 45mg、夕方 15mg) ↓ 1 日 90mg(朝 60mg、夕方 30mg) (漸増) 1 日 120mg(朝 90mg、夕方 30mg)	

以上

本プレスリリースは、当社情報をステークホルダーの皆様へ公平かつ適切なタイミングでお知らせするために行っております。企業情報の開示を目的とするものであり、医薬品の宣伝や広告を目的とするものではありません。

<お問い合わせ先>

東和薬品株式会社 広報部

〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号 TEL: 06-6900-9102 E-mail: kouhou@towayakuhin.co.jp